



すぎなみ 教育報



No.214

平成26年9月30日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

次世代育成基金活用事業



次世代育成基金は、次代を担う子どもたちが、様々な分野での貴重な体験や交流を通して、視野を広げ、将来に向かって健やかに成長できるように支援するための区独自の仕組みです。今回は、基金を活用した事業の中から、スポーツ分野の事業について、ご紹介します。

交流自治体中学生 親善野球大会

平成23年度以降、杉並区と交流を深めてきた台湾台北市・福島県南相馬市・北海道名寄市の中学生に、今年は静岡県南伊豆町の中学生を加えて親善野球大会を開催し、中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める契機とします。

中学生への温かいご声援をよろしくお願いします。



大会
日程

10月12日(日)

10月13日(月・祝)

開会式 8時30分 (上井草スポーツセンター)
試合開始 10時30分 (上井草スポーツセンター)
※富士見ヶ丘運動場では11時30分

試合開始 9時00分 (上井草スポーツセンター)
※校成学園総合グラウンド(杉並区大宮2-20)では8時30分
閉会式 15時30分 (上井草スポーツセンター)



次世代トップアスリート育成・支援事業

チャレンジ・アスリート “誰にでもチャンスがある”

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、「夢に向かって自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子ども」を育成するため、トップアスリートや、アスリートを支える人々と直接触れ合う事業を行います。

次のプログラムを実施予定です

『トップアスリートによる実技指導』

実技プログラム(陸上競技・球技)と専門スポーツ施設の見学



『トップアスリートを支える人たちを知る』

職場訪問・体験プログラム(スポーツトレーナー、大会スタッフ、スポーツメーカー、現役・引退選手のマネージャー等)

『パラリンピック種目』『オリンピック教育』

障害があってもスポーツにチャレンジすることを実感できる体験や、オリンピック・パラリンピックについて学ぶ講座を行います。



今後、自らがトップアスリートを目指し世界へ羽ばたく子どもたちへの支援策なども検討していきます。

○ 以下の日程で実施します。

平成27年1月17日(土)・18日(日)全2日間

この他に選択制で「職場体験プログラム」(1日間)があります。
※応募方法やプログラムの詳細は「11月の広報すぎなみ」をご覧ください。

・事業の問合せは、スポーツ振興課事業係(☎03-3312-2111)

子どもたちの夢を育てる次世代育成基金に皆様の応援寄附をお願いします

・次世代育成基金の寄附の申し出は、児童青少年課青少年係(☎03-3393-4760)



杉並中学生生徒会サミット

～いじめをなくすために、自分たちでできること～ 「自分の胸に手を当てて」



7月26日(土)に勤労福祉会館ホールにて「杉並中学生生徒会サミット」を開催しました。このサミットは、「自分たちの身の回りで起こっているいじめは、自分たちで解決しなくてはならない」と区立中学校の生徒が自ら立ち上がり、いじめ問題解決のために何かできることはないかと考え、行動を起こしたことから始まりました。昨年度に引き続き、2回目の開催となりました。当日は全区立中学校の生徒会役員生徒が一堂に集まり、各校で取り組んでいるいじめの防止に向けた取組の発表や、全小・中学校でいじめをなくすために必要な方策等の話し合いが行われました。ここで得た成果は、中学校生徒会役員が中心となって、小学校の児童に伝え、連携しながらいじめの防止のための取組を推進していきます。

第Ⅰ部 各校のいじめをなくす取組についての発表

区立中学校全校からのいじめをなくす取組実践の発表後、代表4校が取組実践のより詳細な発表を行いました。中学校各校からは、挨拶を交わすことや思いやりのある言動などを「しぐさ」としてまとめ、行動の規範として広めてきた活動の内容が報告されました。発表代表校からは、「されてうれしい行動」を模造紙に書いて掲示する「Happy Words Week」や、人から受けた厚意をその相手に返すだけでなく、別の誰かに繋げていく「ペイ・フォワード運動」などのユニークな発表がありました。

【発表代表校】 阿佐ヶ谷中学校・天沼中学校・高井戸中学校・泉南中学校



第Ⅱ部 意見交換会 「僕たち、私たちの提案する解決策」

パネルディスカッション形式で、代表4校の生徒2人ずつ、合計8人が中心となって、いじめ問題解決に向けた議論を行いました。代表以外の客席にいた生徒からも、自身が受けたいじめにもとづく意見などが次々と出され、白熱したものとなりました。生徒からは、いじめをなくすための行動の規範を「しぐさ」にまとめることによって、校内が過ごしやすい雰囲気になり活気が出てきたという良い影響が出ており、この活動を続けることでいつかいじめをなくすことができるという力強いメッセージが出されました。また、このディスカッションには、自らもいじめを受けた経験がある元バレーボール日本代表の三屋裕子さんがコーディネーターとして参加しました。三屋さんは「大人でも解決できない問題に中学生が正面からぶつかっていく姿勢はすばらしい。他人と違っていている部分を個性として大切にしてほしい」と強く訴えていました。

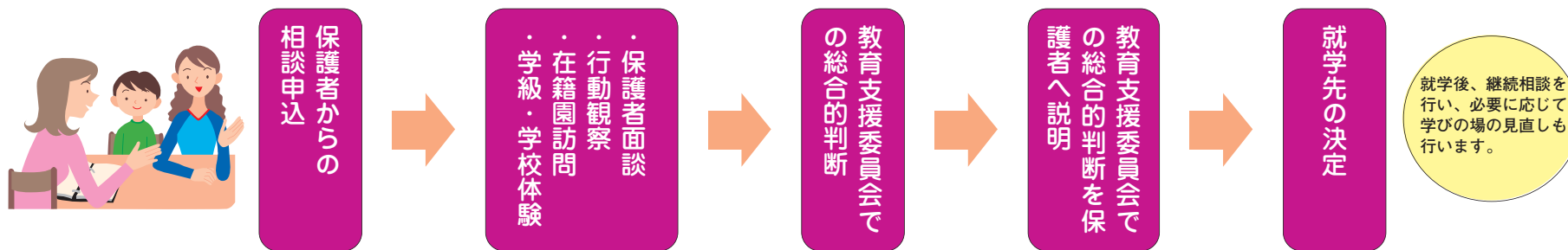
【意見交換代表校】 東田中学校・井荻中学校・神明中学校・大宮中学校

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

よりよい就学のために ～杉並区の就学支援相談の流れ～

障害のある児童・生徒等の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加するための基盤となる「生きる力」を身につけることができる教育環境の整った就学先の決定に向けて、保護者と一緒に専門の相談員が考えていきます。

就学支援相談



◆保護者面談（教育的ニーズの相談）

特別支援教育の内容など情報提供を行い、子どもの特性に応じて、もっている力を最大に伸ばすためにはどのような教育的支援等が必要なのかを保護者と共に考えます。また、保護者の意向を伺いながら、必要に応じて、就学先や進路等の情報提供を行い、学級見学・体験入学を行います。

◆教育支援委員会

子どもの状態、教育上必要な支援の内容、教育支援や福祉サービスの内容、本人・保護者の意見、医師等専門家の意見・その他の事情を総合的に勘案して適切と考えられる就学先を専門的な立場から判断します。

【国の動向、区への対応】

平成18年12月、国連総会において、「障害者の権利に関する条約」が採択され、日本も平成26年1月に批准しました。この間、平成23年8月に「障害者基本法」の一部改正をはじめ、制度整備が行われました。教育分野でも平成24年7月に中教審初等中等教育分科会報告「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が出され、この報告等を踏まえつつ、障害のある児童・生徒等の就学相談・就学先決定の仕組みに関する学校教育法施行令の改正が行われました。

杉並区においても、平成25年10月、文部科学省より出された「教育支援資料 一障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実」を受け、これまでの就学委員会を「教育支援委員会」に改め、早期からのより丁寧な就学支援相談、総合的判断による就学先の決定、就学後のフォローアップと転学に関する柔軟な対応等の見直しを行いました。

問合せ：特別支援教育課 ☎03-3311-1921



特別展「有吉和子^{ほっこ}没後30年記念特別展」

有吉の小説、芝居の活動に加え、家族との関わり、作家となるまでの経験や杉並の自宅での日々にも焦点をあてながら資料を紹介します。
 期間：11月1日(土)～12月7日(日) 午前9時～午後5時 場所：郷土博物館(大宮1-20-8)
 休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日)
 観覧料：100円(中学生以下無料) ☎03-3317-0841

地域の力をいかした土曜授業が始まりました。

平成26年度から、土曜授業（教育課程内の取組）がはじまりました。杉並区では、子どもたちの豊かな教育環境を整えるため、土曜授業を支える活動を学校支援本部が担っています。

天沼小学校：茶道「野点」(4月26日)

澄み渡る青空のもと、緑の芝生に真っ赤な毛氈（もうせん）を敷いて、6年生が茶道「野点」授業を行いました。ご指導いただいたのは、学校支援本部がお願いした「地域の先生」です。



子どもたちは、まず、茶道の道具の扱い方を学んだ後、もてなす側、もてなしを受ける側に分かれて体験しました。

茶道の先生のお点前を子どもたちが真剣なまなざしで見つめ、続いて、少しぎこちない部分もありましたが、自ら実践しました。

この授業を行うに当たり、学校支援本部では、担任と「地域の先生」とをつなぐ窓口として日程調整や授業内容の確認をし、授業の補助を行う保護者サポーターの募集・連絡などを行いました。

多くの保護者や地域の方々の協力により、子どもたちが机上で学ぶだけでは得られない体験を通じた学びの場がつけられています。

荻窪中学校：「夢ネット」コミュニケーションタイム(4月12日)

中学生の「コミュニケーション力を育てる」ことを目的に、地域の大人と出会い、会話する授業を実施しました。

学校と学校運営協議会、PTA、そして学校支援本部が協力し、普段から地域の活動に協力して下さる大人とともに、小グループで車座になり、お互いに質問し、答える形式で行いました。

中学生は緊張していましたが、次第に、熱心に相手の話を聞き、質問に答える姿が見られました。

今回の呼びかけには、35人もの大人が応えてくださり、『こんなに



たくさんの方が協力して下さるのか』と驚きの声があがりました。

さらに『地域をあまり意識したことはなかったけれど、親や先生以外のいろんな人に見守られているのだと気付かされた』という声が聞かれました。

「土曜授業」の充実には、様々な人生の経験を積み、多様な知識と技能をお持ちの区民の皆さまの協力が欠かせません。学校単位で組織されている学校支援本部が窓口となりますので、お気軽にお問い合わせください。

問合せ：学校支援課 学校支援係



子ども、保護者、地域の方々

それぞれが杉並の明日を創る教育の担い手です。



保護者の学び場 家庭教育講座

企画してみませんか？

家庭教育ってどんなものだと思いますか？

家庭で、単に国語や算数などを学習させる事ではありません。

かつて子どもは、家庭や地域の仲間と過ごす中で、社会の一員として生きる知恵を学び取っていきました。そんな地域の力に支えられた子育て環境を含めて家庭の教育力と呼んでいます。

しかし、近年は地域とのつながりが希薄になり、個々の家庭の中で子育てを行い、保護者同士の「子育てが大変」と相談し合える関係も作りづらい状況も見受けられます。

教育委員会では教育の出発点でもある家庭に着目して、父母や他の保護者が自ら学びの場をつくり、子どもの成長について理解を深めたり、子どもを育てる中で抱えている課題を共有し、解決していくことを目的とした講座の支援をしています。

大人が対象で、5歳から中学生までの子どもの成長段階に応じた「親として学びたいこと」をテーマに、講座を実施してみませんか？

参加してみませんか？

☆区立小学校保護者対象の講座

(10月頃学校を通じて、参加可能な講座のチラシが配布されます)

☆どなたでも参加可能な講座

区分	テーマ	講師	主催団体	テーマ/主な対象者	講師
1	発達障害への理解と共生へのチャレンジ	むさしの発達支援センター 所長 森山 徹	西田保育園 父母の会	性別によることものの育て方(後半) 男の子の心とカラダ / 5歳から小学校低学年の保護者	公益社団法人誕生学協会認定 誕生学アドバイザー 橋谷 美穂子
2	思いやりの心をはくむために今、必要なこと	弁護士 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力	堀ノ内子供園 PTA	子どもの心との向き合い方 / 5歳から小学生の保護者	むさしの発達支援センター 所長 森山 徹
3	子どもは大人のパートナー	弁護士 社会福祉法人カリオン子どもセンター 理事長 坪井 節子	杏掛小学校 PTA	今、子どもを持つ親が知っておきたい 憲法の話 / 小学生の保護者	弁護士 日井連憲法問題対策本部 副本部長 伊藤 真
4	怒りの感情をコントロールする方法 ~子どもたちの笑顔を育むために~	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメント シニアファシリテーター 須田 愛子	see mom, be mom	知ろう、思春期の心 子どもの自立が育まれる関わり方 / 小学校高学年から中学生の保護者	選択理論心理士 M&F Relations 代表 木村 宣貴
5	発達障害への理解を深める ~保護者だからできることパートII~	済美教育センター指導教授 月森 久江	ほっとサロン クローバー	地域で楽しく支え合う子育て ~子育て体験談を聞き今後に活かそう~ / 小学生から中学生の保護者	成田西子供園元副園長 中村 まゆみ 助産婦・保健師・思春期保健相談師 千葉明徳短大非常勤講師 有馬 祐子
6	しつけの力は言葉の力 ~子ども達の可能性を引き出す家庭教育~	むさしの発達支援センター 所長 森山 徹			
7	学習、行動、友だち関係で気になる子どもたち ~周囲の大人たちができること~	杉並区教育委員会事務局 特別支援教育課 准指導主事 早川 宏			

問合せ：学校支援課 家庭・地域教育担当

中学生も地域のリーダーとして活動しています

中学生レスキュー隊!!

災害時に役立つ知識や技能を習得すること、また地域貢献意識を高めることを目的として、杉並区の各区立中学校には「中学生レスキュー隊」が編成されています。

隊員たちの意識は高く、『もっと人を助ける方法を身につけたい』『たくさん訓練に参加してさまざまなケースに対応できるようになりたい』といった頼もしい声が上がっています。

地域の防災訓練では、傷病者の搬送方法や三角巾を使った止血方法など、活動を通して習得したことを地域住民や小学生に伝えています。

8月30日(土)に東京都と杉並区が合同で実施した総合防災訓練では、地域住民と協力して取り組みました。



訓練の参加者からは、『中学生が訓練に参加すると活気が出てくる』『活動している姿が頼もしい』といった声が聞かれました。

地域と学校をつなぐ役割が中学生レスキュー隊に期待されています。

問合せ：学校支援課 学校支援係

分館企画展「1964東京オリンピックと杉並」 1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念

1964年に東京で開催された第18回オリンピック競技大会を、行政資料と区民の方から募集した関連グッズや当時の思い出話とともに振り返ります。 共催：公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、日本パラリンピック委員会 期間：9月20日(土)～12月7日(日) 午前9時～午後5時 場所：郷土博物館分館(天沼3-23-1) 天沼弁天池公園内 休館日：毎週月曜日、毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は翌日) 観覧料：無料 ☎03-5347-9801

夏休み、先生方も学んでいます！



教科等におけるICT機器活用研修会

9月から区立学校で電子黒板を活用した授業が始まりました！



7月29日(火)に、電子黒板、デジタル教科書等の活用に関する研修会がありました。機器

の使い方から、授業におけるICTの効果的な活用の在り方まで熱心に学びました。授業参観等ではその効果をぜひご覧ください。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

小中一貫教育研修

小中一貫教育がすすんでいます！



7月24日(木)に、国語、社会、算数・数学、外国語活動・外国語、音楽のワークショップ型の研修が

実施されました。小・中学校の先生方が話し合い、理解を深める中で、つながりを重視し、互いを生かし合う教育の実現を目指します。

小学校理科専科等研修

中学校理科学研究

これはなんでしょう？



これは、来年度、科学館プラネタリウムの代替として検討している「移動式プラネタリウム」です。7月

31日(木)に行われた小・中学校の理科の先生を対象とした研修で体験会が行われました。

大きなエアドームの中で、デジタル式のプラネタリウムを活用した学習の指導方法について学びました。



知っていますか

学校薬剤師の先生

のお仕事

「プールで白衣を着て水の検査をしている人」や「教室で機械を持って何かを計測している白衣の人」を見かけたことはありませんか。それは、学校薬剤師の先生です。学校薬剤師は、薬剤師の国家資格を有し、教育委員会から委嘱を受けた非常勤の学校職員です。杉並区学校薬剤師会は、児童・生徒が快適に学校生活を送ることができるよう、年間を通じて、学校の環境衛生について検査等を行っています。今回は、主な活動について紹介します。

問合せ：学務課 保健給食係

●水泳プールの衛生管理

学校のプールは、多人数が一度に利用するため、水質の管理が非常に重要です。学校薬剤師は、6月から9月までの間、定期的に学校を訪問し、プール水の水質検査(水温、濁度、塩素濃度、大腸菌の有無、一般細菌数など)を行い、安全で楽しい水泳授業が出来るように管理しています。



●教室の環境衛生検査

締め切った教室の中では、二酸化炭素が増え続け、集中して授業を受けることが難しくなります。学校薬剤師は、良い環境で児童・生徒が授業を受けることができるよう、教室の二酸化炭素濃度や空気の流れ、気温や湿度などを定期的に検査し、指導・助言を行っています。



また、教室内の照明環境が良好に保たれるよう、採光及び照明検査も実施しています。

●薬物乱用防止教育

現在、「危険ドラッグ」の使用に関する事件・事故がニュースになることが非常に多くなっています。学校薬剤師は、違法な薬物から児童・生徒を守るため、学校を訪問し、小学5年生から中学3年生までに対して、薬物乱用防止に関する講義を行っています。

また、学校内に保管してある毒物・劇物に関しては、児童・生徒の安全を図るとともに盗難防止や耐震対策などの観点から適切に管理を行っています。



小学生が使う教科用図書が決まりました

8月18日(月)に開かれた教育委員会において、区立小学校で平成27年度から30年度まで使用する教科用図書が以下のとおり採択されました。

採択された教科用図書の見本は済美教育センターで閲覧することができます。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

平成27~30年度使用 小学校教科用図書

種目	出版社	書名
国語	光村図書出版	国語
書写	光村図書出版	書写
社会	東京書籍	新編 新しい社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	教育出版	小学算数
理科	大日本図書	新版 たのしい理科
生活	大日本図書	新版 たのしいせいかつ
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	日本文教出版	図画工作
家庭	開隆堂出版	小学校 わたしたちの家庭科
保健	学研教育みらい	新・みんなの保健

久我山っ子スタイル

久我山小学校

久我山小学校では、基本的な学習の決まりや生活習慣を「久我山っ子スタイル」と名付け、集中して学習できるよう取り組んでいます。

また、全学年で人権標語づくりを行い、思いやりの心を育み、人とのかわわりを大切にしています。

これらの取組を広く知ってもらおうと、「久我山っ子スタイル推進ポスター」、「久我山っ子カレンダー」を作成しました。商店街や近隣施設にも掲示し、学校の取組を理解してもらうことで、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの成長を見守っています。



日々カレンダーをめくりながら友達のかかり方について考える機会として活用しています



子どもたちの生活スタイルとして浸透していくことを家庭・地域と共に目指しています。



教育委員会の動き (26年6月~26年8月)

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 ・定例会 6回 ・議案 14件 ・報告事項 19件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項

◎ 杉並区立新泉和泉小学校及び杉並区立和泉中学校の指定通学区域について

◎ 杉並区立小学校において使用する教科用図書(平成27~30年度使用)の採択について

◎ 杉並区妙正寺体育館改築建築工事の請負契約の締結について

○ 地域運営学校の成果検証に係るアンケート調査の実施について

○ 学校施設使用料の徴収方法について

○ (仮称)すぎなみスポーツアカデミーの実施について

○ スーパー食育スクール事業(SSS)実施について

○ 次世代トップアスリート育成・支援事業について

○ 平成26年度杉並区立小中学校における学力等調査の概要について

●再生紙を使用しています